

第4章 川越線（大宮～高麗川）

第1節 10月11日(土):高麗川～南古谷 曇り

高麗川(9:55)～武蔵高萩(11:14)～笠幡(12:00)～的場(13:10)～西川越(13:58)～川越(14:47)～南古谷(16:05)

川越線は数年前から歩きたいと思っていたが、後々に回しとなり、本日2003年10月11日(土)の挑戦となった。数日前の予報では快晴のことであったが、予想に反し曇り空であった。朝5時半におき、愛犬セブンを散歩させてからのウォーキングとなった。自宅を7時40分頃出る。町田駅、八王子駅経由で高麗川駅に向かう。八王子駅の川越行きは9時3分であった。高麗川駅に着くと、八高線踏破の際に利用した2両編成のディーゼル車が待機していた。高麗川駅には10時少し前に着く。この駅は、2年前2度ほど利用したので、懐かしく思えた。しかし、思ったよりも駅前の賑やかさはなかった。写真のフィルムを買おうと思い、コンビニを探したが、見当たらず。少し離れたところにあったが、APフィルムは売り切れで買えず。



※高麗川駅、高麗川駅界限

川越日高線(県道15号線)に出て、少し行ったヤオコー高麗川店(スーパー:日高市鹿山)で購入。それ故、残念ながら、高麗川駅前をカメラに収められず。途中、埼玉女子短期大学があった。女影の交差点まで県道を歩く。ここから、JR線へのつたい歩きとなる。女影踏切(10時55分)、鎌倉街道踏切(10時10分)を左手にして歩く。11時14分、グリーン屋根の武蔵高萩駅に着く。笠幡駅を少し過ぎたところ、霞ヶ関団地の交差点前の「福竜」というラーメン店(12時10分から30分程度)で野菜炒め定食を注文する。サンスポには、ヤンキースの松井の活躍と巨人の堀内丸の記事があった。

東京国際大学の看板が目立つ的場駅前には13時10分着く。今日は3Km距離単位で駅が登場するので、歩きやすかった。青梅線のように1Km単位は写真撮影で忙しくなる。入間

川を13時45分通過。川原には、ゲートボール用のパター練習場があった。本日は、川越線の名前の通り、小さな川越が沢山あった。西川越駅には13時58分到着。駅はシャッターが閉まっていた。川越駅は、JR線のほか東武東上線と西武新宿線が来ており、賑やかな町であった。反面、地形が複雑で神経を使わされた。川越駅には14時47分に到着。噴水のある南口駅前ビルは改築工事で活気を感じた。



※武蔵高萩駅、女影踏切



※笠幡駅、的場駅



※西川越駅への路、西川越駅

今回の関係から、ここで打ち止めにするか否か迷ったが、3時前のため、3.7Km先の南古谷駅を目指すことにする。地図を見たところ、南古谷駅への幹線道路がなく、神経を使う区間

となった。取り敢えず、東武東上線に惑わされないようにするため、北口に移動する。北口の方向が、一層賑やかであった。道に迷わないようにするため、JR線のつたい歩きに専念する。南古谷駅には16時5分に到着。北口からは駅への通路はなく、1周して南口から入る。南古谷駅は寂れた駅ではないかと思ったが、予想に反し若者の乗り降りの多い駅であった。川越東高校の看板があった。予備校もあった。16時25分の新宿行きの快速で家路に向かう。自宅には18時40分到着。今日の営業距離は18.2Km、万歩計は54,455歩だった。本日の印象に残る点は、「霞ヶ関」という名称であった。それと川越駅が意外に賑やかな駅にびっくりしたことがあった。



※川越駅



※南古谷駅

本日は、川越は城下町として有名とのことであるが、生憎歩くコースが悪く、城下町らしい場面に一度巡り逢えなかった。次回、私鉄沿線踏破の際にリベンジしたい。

第2節 10月18日(土):南古谷～大宮 晴れ/雨

南古谷(8:35)～指扇(さしおうぎ、10:10)～西大宮～日進(11:25)～大宮(12:55)

南古谷駅からの続きは、1週間後の2003年10月18日(土)となった。本日は家内がパート休みのため、セブンの散歩は免除となった。それ故、1時間位早く出発することができた。南林

間駅を6時40分の電車で、現地である南古谷駅に向かう。途中の新宿駅では、記念すべき場面に直面することができた。2004年度でお別れとなる。「2600形塗装復活記念」用の小田原駅行き電車(7時半頃:全体が紺系で窓部分が黄土色の電車)である。車掌さんの話によると、特別の乗客券があるとのことであった。たくさんの人がこの電車の写真撮影を撮っていた。私もタイミングよくカメラに収めることができた。うとうとして、大宮駅から指扇駅(さしおおぎ)までの道路状況を観察できず。運良く指扇駅で目が覚め、南古谷駅までは観察ができた。荒川があり、南古谷駅=指扇駅間は難しい感じであった。8時35分南古谷駅に到着。



※指扇駅



※西大宮駅、日進駅

浦和川越新道踏切を渡り、川越市立東中学校の通りを通り、指扇駅を目指す。荒川を気にしての歩きとなった。途中、本日と明日にかけて、川越祭りのポスターを目にした。国道16号線に出たところで、もう少しで進行方向を誤りそうになった。地図を見て難を逃れる。入間川・荒川の土手には9時25分到着。川原では、古谷自動車教習所があったほか、熟練の年配者のゲートボール大会のイベント風景にも出会った。また、ゴルフ場では秋のひと時を楽しんでいた。橋の長さは、1kmはゆうにあると思われた。ゴルフ見物で5分位足を止めたため、向こう岸の土手の近郊にある大込樋管には9時50分の到着となった。ややこしい道路を經由して、指扇駅には10時10分に着く。南古谷駅から日進駅までJR線の踏切を何回も渡りながら歩く。

平方新道踏切、宮前氷川神社、さいたま市立宮前中学校経由で日進駅には 11 時 25 分到着。日進という地名を聞き、どこかで聞いた地名であると思ったら、愛知県の日進市(私の大学時代友人の住所)だった。

大宮駅の近くの「麺ぱり」のいうラーメン屋で 12 時 15 分過ぎ昼食を取る。大宮駅の西口には 12 時 55 分に着く。東口とは違う都会の様相をしていた。駅前の広場では参議院員補欠選挙のため民主党候補の演説があった。北与野駅(13 時 35 分)辺りから小雨に遭う。確か、京浜東北線走破のときは浦和駅近郊で、武蔵野線の走破の時は武蔵浦和駅近郊で雨に遭った。本日もついていない。埼京線の橋げたの下は、駐車場や施設の多目的で活用されていた。大宮駅以降は、午前中と比べ道が埼京線の橋げたに沿う単純な歩きとなった。その上小雨模様で快適な気分を堪能することができなかった。



※大宮駅

(♪).....(♪).....

以下、埼京線の一部を記載。

集中力を欠いたこともあり、中浦和駅を写真に収めることができなかった。武蔵野線が中浦和駅辺りから登場するとは思わなかった。武蔵野線に惑わされた。貨物列車が走っていた。鉄道の橋げたが埼京線と異なっていた。冷静になり地図を確認していれば簡単に識別できたと思うが、雨でその気力もなし。与野本町 13 時 55 分、南与野 14 時 20 分、武蔵浦和 15 時 20 分、北戸田 16 時経由で戸田駅には 16 時 25 分到着。今日は阪神＝ダイエーの日本シリーズがあるので、1.1Km先の戸田公園までの歩きを断念する。16 時 38 分の電車で帰宅する。自宅には 18 時 20 分到着。本日の歩きは、23.6Km、58,162 歩だった。